

HONDA CB1300 SUPER FOUR / SUPER BOL D'OR Slip-On サイクロン LEPTOS EXPORT SPEC 政府認証

取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

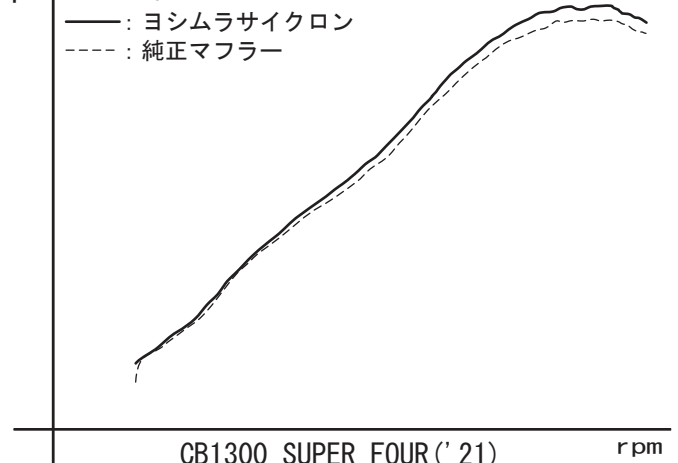
- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	HONDA CB1300 SUPER FOUR / SUPER BOL D'OR (SP対応)		
車両型式	8BL-SC54		
エンジン型式	SC54E		
認証番号	JMCA1122001207		
サイクロン型式	H47FSCI11		
素材	SUS304 / Ti		
品番	ステンレスサイレンサー	:	110-47F-5450
	チタンサイレンサー	:	110-47F-5480
	チタンブルーサイレンサー	:	110-47F-5480B
重量	純正マフラー	:	4.1 kg
	ステンレスサイレンサー	:	3.4 kg
	チタンサイレンサー	:	3.2 kg
	チタンブルーサイレンサー	:	3.2 kg

ps 性能曲線

—— : ヨシムラサイクロン
----- : 純正マフラー

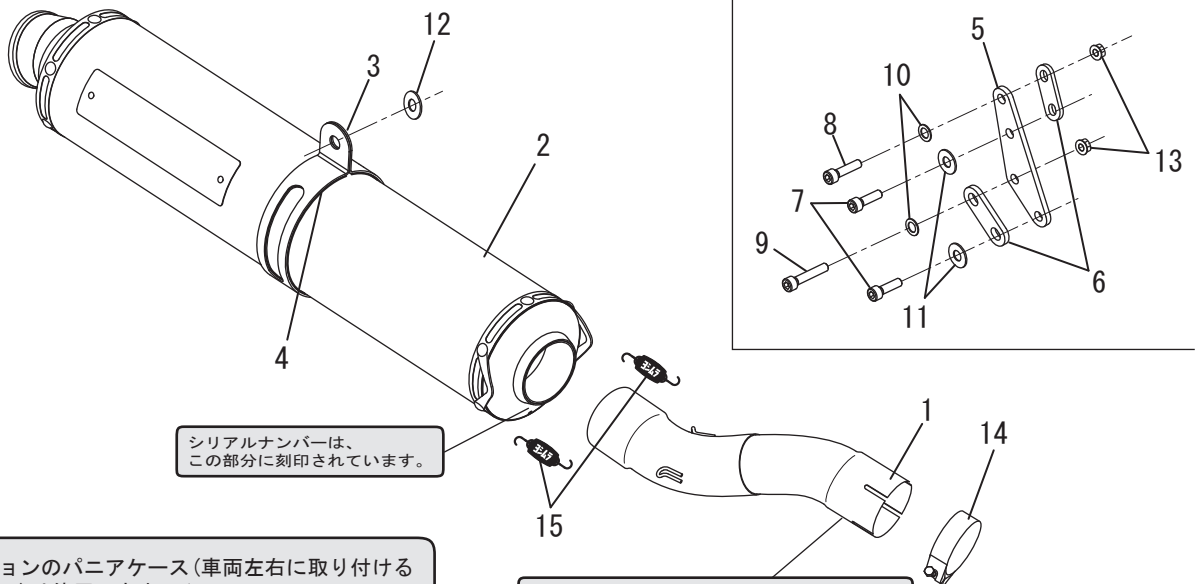


CB1300 SUPER FOUR ('21)

rpm

2. セット内容

触媒 有	オイル交換 可能	オイルフィルター交換 可能	センタースタンド 可能	ガスケット 使用しない	カウル加工 無	サイレンサーリメイク 可能
---------	-------------	------------------	----------------	----------------	------------	------------------



シリアルナンバーは、
この部分に刻印されています。

ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分に
レーザーマーキングされています。



※純正オプションのパニアケース(車両左右に取り付ける
ハードケース)は使用できません。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	テールパイプ	1	115-47F-5400	9	キャップボルトM8×4.5	1	800-208-5045
2	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	139-47F-5450	10	平ワッシャM8×1.6	2	812-108-1612
	サイレンサー (チタンカバー)		139-47F-5480	11	平ワッシャM8×2.0	2	812-108-2000
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-47F-5480B	12	平ワッシャM8×2.6	1	812-108-2600
3	サイレンサーバンド	1	162-15R-1059	13	フランジナットM8	2	823-008-1250
4	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-002-0536	14	クランプバンド 51-55	1	162-777-5155
5	オフセットステー	1	161-41C-0300	15	マフラーズプリング (フローティング)	2	118-001-0000
6	補強プレート	2	161-41C-0310	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
7	キャップボルトM8×2.5	2	800-208-5025	※	自動車排出ガス試験結果証明書	1	2180285
8	キャップボルトM8×3.5	1	800-208-5035				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. S E T 内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、フレーム等を損傷しないように注意して、純正サイレンサーを取り外して下さい。（F I G. 1 参照）
3. 右側のタンデムステップブラケットを取り外して下さい。（F I G. 2 参照）
4. ⑦キャップボルトM8×25、⑪平ワッシャM8×20を使用して、右側のタンデムステップブラケット取り付け位置に、⑤オフセットステー、⑥補強プレートを取り付け、⑤オフセットステーと⑥補強プレートの穴位置を合せてから規定トルクで締め付けて下さい。（F I G. 3 参照）

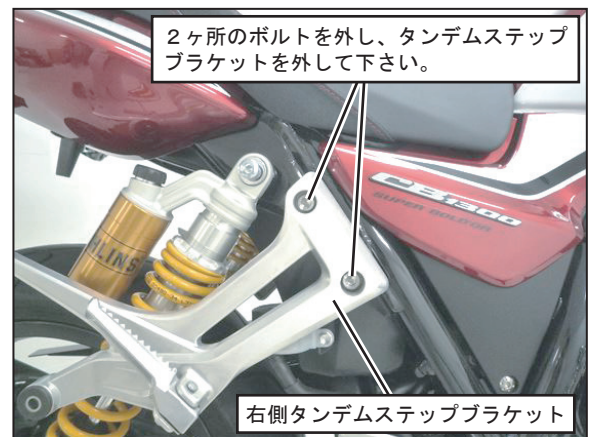
△注意 規定トルク キャップボルトM8 : 2.3 Nm

5. 手順4で取り付けした⑤オフセットステーに、⑧キャップボルトM8×35、⑨キャップボルトM8×45、⑩平ワッシャM8×16、⑬フランジナットM8を使用して、右側タンデムステップブラケットを規定トルクで締め付けて下さい。（F I G. 4, 5 参照）

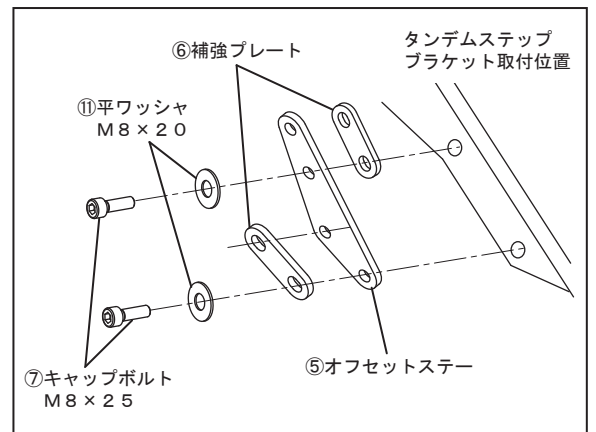
△注意 規定トルク キャップボルトM8 : 2.3 Nm



F I G. 1



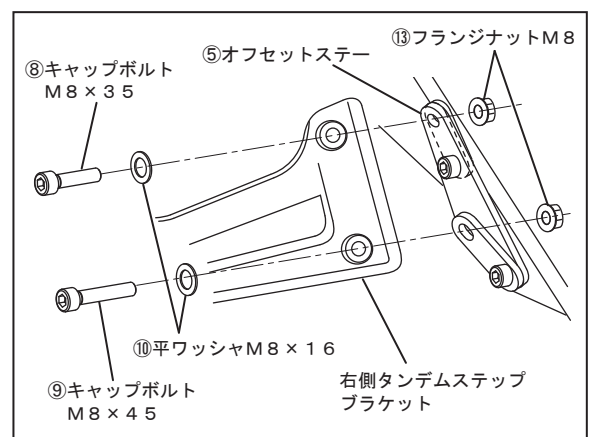
F I G. 2



F I G. 3



F I G. 4



F I G. 5

6. ①テールパイプ前側に⑭クランプバンドを取り付けてから車両に取り付け、⑭クランプバンドを仮締めして下さい。(FIG. 6, 7 参照)

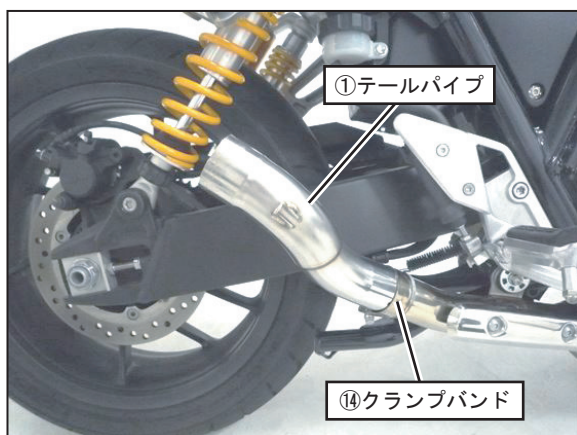


FIG. 7

7. ①テールパイプに②サイレンサーを取り付け、⑮マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けして下さい。(FIG. 8 参照)

8. 車両のタンデムステップに取り付けられている純正カラーを外し、車両内側から取り付け直して下さい。
③サイレンサーバンドに④サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから②サイレンサーに通し、②サイレンサーの頂点のリベットが真上に向くよう傾きを調整しながら純正ボルト、純正ワッシャ、⑫平ワッシャ M8×26、純正ナットを使用して車両のサイレンサー取り付け位置に仮締めして下さい。
(FIG. 9, 10 参照)

△注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けして下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。
※バンドを仮締める前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

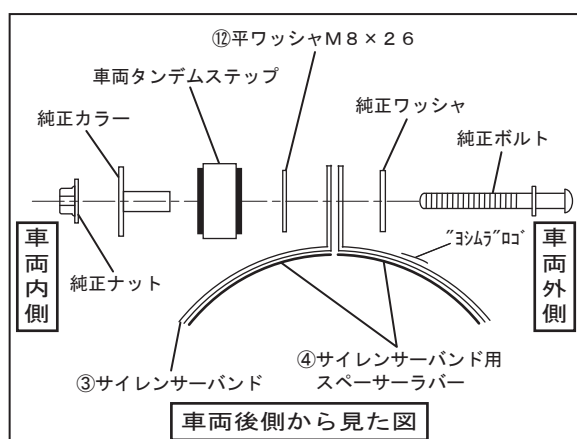


FIG. 10

9. 車両後方から見てサイレンサーの傾きを調整し、クランプバンド→サイレンサーバンドの順に、仮締めしたボルト・ナットを規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 11 参照)

△注意 規定トルク クランプバンド : 10 Nm
 サイレンサーバンド : 23 Nm

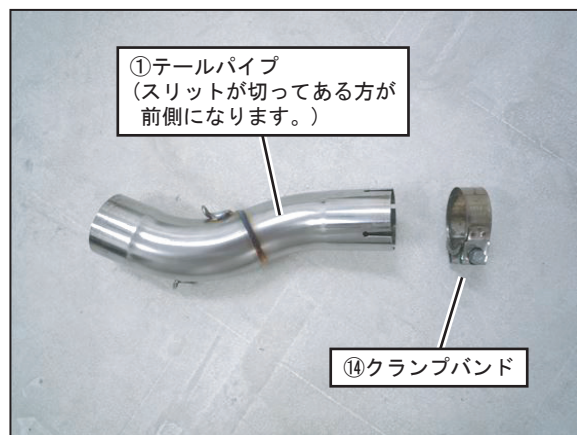


FIG. 6

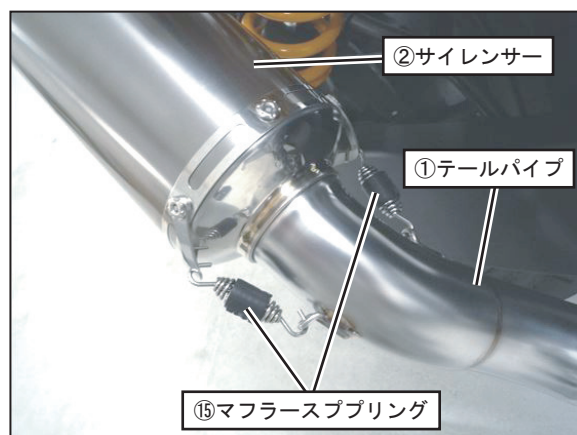


FIG. 8



FIG. 9



FIG. 11

10. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は締め付けたボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。

(FIG. 12 参照)

11. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

△注意 ※メタルマジックカバーやエンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。



FIG. 12

12. エンジンを始動して排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

参考 テールパイプのスリット部から排気漏れする場合は、市販の液体ガスケットを使用してシーリングして下さい。



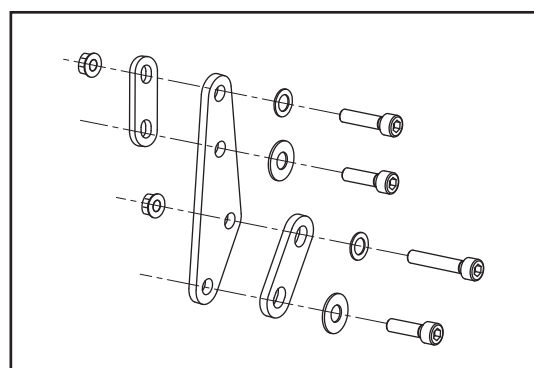
HONDA CB1300 SUPER BOL D'OR Slip-On サイクロン LEPTOS 政府認証

オプションパーツとして、タンデムステップオフセットプレートセットを販売しております。

左側のタンデムステップを、右側と同じ位置にする為の商品です。

HONDA CB1300 SUPER BOL D'OR('14-)
タンデムステップオフセットプレートセット
(PARTS NO. 194-41C-0010)

製品情報ページ

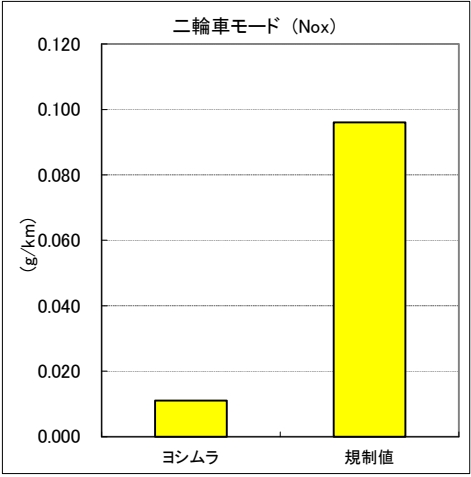
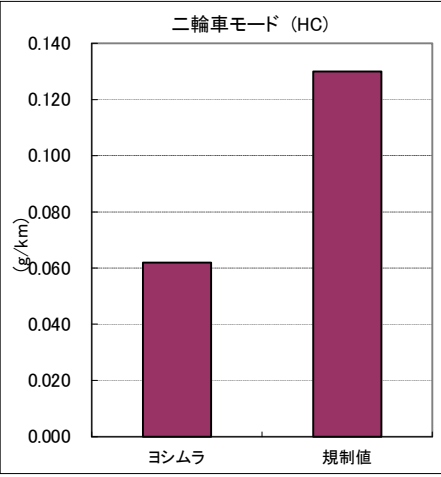
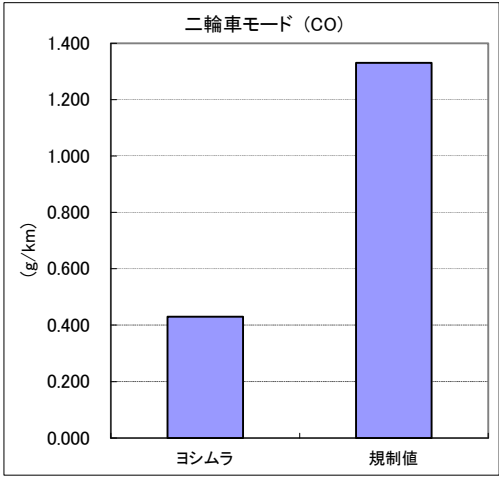


排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表

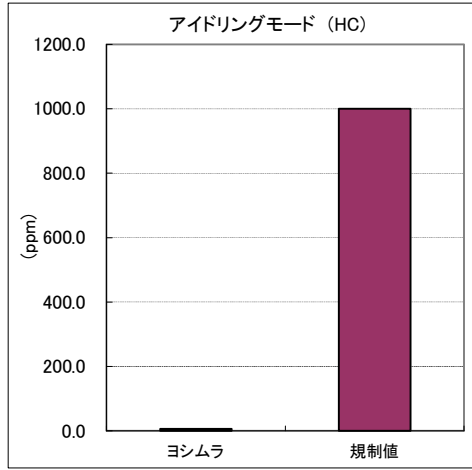
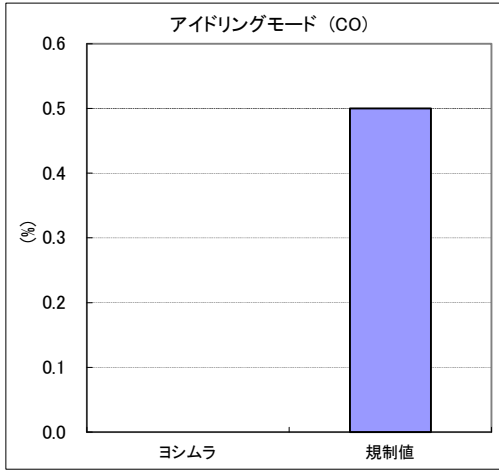
WMTcモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.430	1.33
炭化水素HC(g/km)	0.062	0.13
窒素酸化物Nox(g/km)	0.011	0.096
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	130.1	規制無



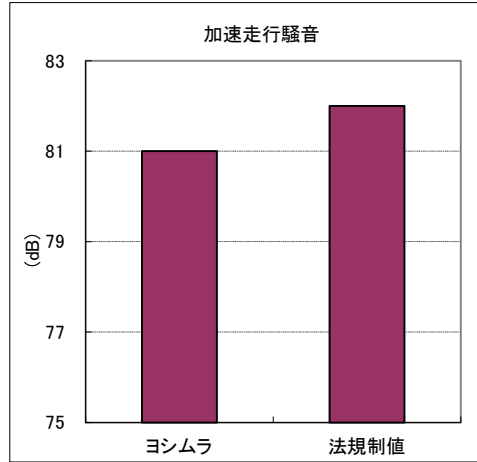
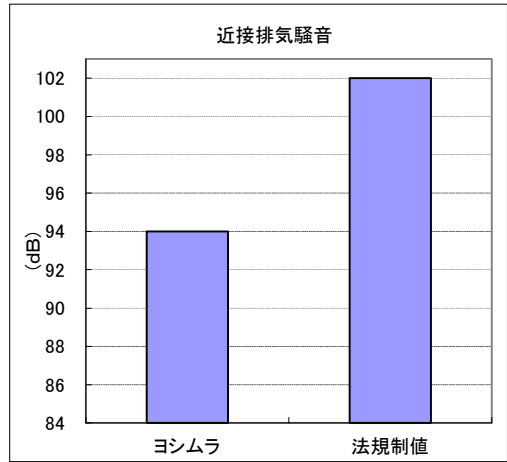
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	0.5
炭化水素HC(ppm)	6.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	102
加速走行騒音(dB)	81	82



⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのマフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠危険

- ※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

- ※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
- ※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
- ※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●High Flow Magicについて

※本製品は、マフラー内部にハニカム触媒を搭載したキャタライズドサイクロン“High Flow Magic”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

- ※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
- ※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
- ※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
- ※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

- ※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
- ※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
- ※使用過程で発生した商品の变色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
- ※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

●「政府認証マフラー」について

- ※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
- ※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶

マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

